マイバッグ運動と森づくり

1978年、オイルショックを背景に、コープこうべでは「買い物袋再利用運動」によりレジ袋削減の取り組みをはじめました。兵庫県内の店舗では、1995年からお買い物にマイバッグをお持ちいただき、レジ袋が必要な方には有料でご利用いただく「マイバッグ運動」にステップアップし、今では9割の方にマイバッグをお持ちいただいています。これにより製造や焼却時に発生するCO_2の削減で地球温暖化防止、そして近年注目を集めているプラスチックごみの発生抑制にもつながっています。

マイバッグ運動を通じて“買い物”という日常の場面で、くらしと環境問題のつながりに気づき、環境配慮の行動を起こすきっかけづくりができればと考えています。「お買い物にはマイバッグ」が“あたりまえ”の社会となることをめざし、これからも着実に取り組みをすすめていきます。

マイバッグ運動でいただいたレジ袋代金は、これまですべて環境の取り組みに活用しています。そして、「コープの森・社家郷山」でも、この代金の一部を活用し、2008年度から、生物多様性保全をめざした森林整備と、それを通じた環境学習・活動をすすめています。

環境を守ること。それはくらしを守ること。

マイバッグから始めるエコ。

国では、森林整備によるCO_2削減(吸収)を推進するため、国民の幅広い理解と協力を得て森林づくりをすすめる「美しい森林(もり)づくり推進国民運動」を展開しています。この一環で、環境保全など社会貢献活動に関心の高い企業の森林づくりへの参加を支援するため、各府県で「企業の森づくり」制度が整備され、兵庫県でも2008年度にこの制度がスタートしました。

コープこうべはその第一号として、2008年5月17日に、兵庫県、土地を所有する西宮市、コーディネーターの(公社)兵庫県緑化推進協会と四者で森づくり協定を結びました。

具体的な活動は、専門的なノウハウをもつ兵庫県森林組合連合会、NPO法人こども環境活動支援協会などと連携してすすめています。

社家郷山の歴史

「社家郷」とは、西宮神社を守る家々という意味です。社家郷山は、広田、越水、中村、西宮郷からなる社家郷村の持ち山でした。寛永18年(1641年)に起きた大旱魃の際、この地域の農民は仁川上流域にある社家郷山から流れ出る水は社家郷村のものであると主張し、仁川の水を利用していた大市庄の村々(段上、上大市、下大市、門戸、神呪村)と一触即発の事態となりました。広田神社の神官であった中村紋左衛門がこの難局を解決し、2年を費やして水路が完成しました。広田神社には、これをたたえる「兜麓底績碑(とろくていせきひ)」が建てられています。

現在も当時と同じ場所から仁川の水を取水し、北山貯水池に貯められ、夙川水系の水分谷に流れています。社家郷山の南に位置する鷲林寺地域はこの社家郷用水を利用することで「鷲林寺新田」として開発されました。

また、六甲山系の東端にある社家郷山は花こう岩質で崩れやすい地質のため、谷筋の水が流れ込む仁川は氾濫が多く、明治初期から治山事業として石積や植林、砂防堰堤工事が行われてきました。

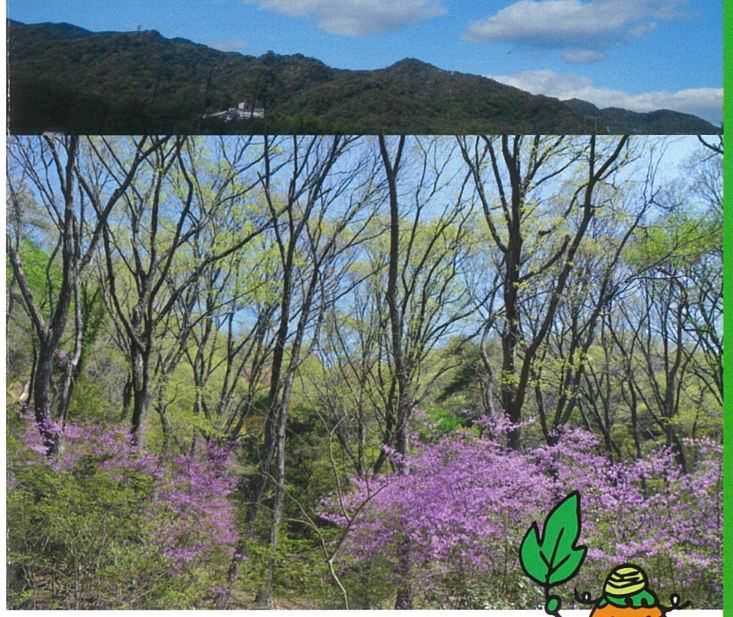
住所　……西宮市越水社家郷山
アクセス…〈西宮方面から〉さくらやまなみバス「かぶとやま荘」下車すぐ
阪神バス・鷲林寺線　「西宮甲山高校前」下車徒歩8分
〈宝塚方面から〉阪急バス「かぶとやま荘」行き　終点下車すぐ
※スタッフは常駐していません。お問い合わせは下記まで。

連絡先　生活協同組合コープこうべ　第2地区本部
〒662-0832　西宮市甲風園1丁目8-1
TEL:0798-67-8927　FAX:0798-67-3178

https://kumikatsu.kobe.coop/theme5/index.php#theme5-shakegou

コープの森・社家郷山（しゃけごうやま）

社家郷山は、西宮市が策定する「生物多様性にしのみや戦略」の重要拠点のひとつに位置付けられています。また、2015(平成27)年12月には、社家郷山及び甲山グリーンエリアが環境省の「生物多様性保全上重要な里地里山(略称:重要里地里山)」(500箇所)に選定されました。



CO-OP 生活協同組合コープこうべ

しゃけごうやまのもりんちゃん

コープの森・社家郷山では、「山とくらしをつなぐ学びの森」をテーマに楽・学・めぐみ・広がり の4つのコンセプトで取り組みをすすめます。

楽　人が楽しみながら学べる森づくり

木の除伐で日当たりが良くなりコバノミツバツツジが満開に！里山ならではの植物の種類も増加。

ヒメヘビイチゴ、モリアオガエルなど希少種の生育・生息を確認。

渓流に住むタゴガエル。

近郊で採取した種を育て、万葉の時代から親しまれている草花の草はらづくり。

夏、美しい声でさえずるオオルリ。

学　循環や食農を体験的に学習できる場に

日当たりを良くするための除伐を体験。

整備で出た伐木で薪を作り、火を起こして野外調理。

たい肥の原料となる落ち葉集め。近隣の学習農地では、このたい肥で野菜づくり。

山から農地への水流をたどる。

洪水や土砂崩れから、くらしを守ったえん提が山の各所に。

みんなで育む社家郷山

第3次西宮市環境基本計画にひもづく「未来につなぐ生物多様性にしのみや戦略」に沿って、取り組みをすすめています。

西宮市およびコープこうべはもとより、市内の学校園、企業、NPO、市民団体、そして市民など多様な主体が愛着をもって関わり、盛りたてていく活動でありたいと思っています。

広がり　より多くの人と共に感じ、交流

ボランティアによる生物多様性に向けた保全活動。

「学びのパネル」で、散策に訪れた人にも社家郷山の自然、生きもの、歴史、地形等を案内。

めぐみ　「山のめぐみ」活用の具体的なモデルづくり

「都市型里山」構想のもと、キャンプ場で使う薪材を社家郷山・甲山エリアで持続的に調達。薪割り機で薪材づくりを体験するプログラムも。